

平成27年8月16日  
今週のベストショット



奈多グラウンド 三苦ホーネッツ 対 ブルーマーリンズ戦  
ホーネッツ相手に2失点と好投したブルーマーリンズ林拓未選手。次回は勝利を！  
写真：奈多サンデーズ 田中孝幹

奈多グラウンド 緊迫した投手戦を制したのは？

三苦ホーネッツ（7勝1敗1分）020000 2 矢野○、井手、矢野一広木

ブルーマーリンズ（0勝9敗）010000 1 林●ー横山(健)

3BH：林（ブルー） 2BH：阿部（ブルー） 盗塁：山崎（三苦ホ）

初回をゼロで抑えた両チーム。試合が動いたのは二回表ホーネッツの攻撃。二死からショート森選手の暴投で二死二塁とし八番三浦選手の打球をサードが弾きショートへ、この送球も暴投となりホーネッツ1点先制。なお二死二塁で、続く前園選手のセーフティーバントをこの回三つ目のエラーで二三塁とし、一番稲葉選手のセンター前ヒットで2点目を挙げた。その裏ブルーマーリンズは、一死一塁から七番林投手が右中間三塁打を放ち1点を返し、尚も一死三塁。同点にしたいブルーマーリンズは八番井手選手がスクイズを試みるもホーネッツ矢野投手の好守備でホームタッチアウト！その後両チームともヒットは出るが、両投手の粘りで追加点が取れずこのままゲームセット。ブルーマーリンズにとっては遠い1点となった。その他の結果をひとつ。五回裏に親子対決が実現した。四回から変わったホーネッツ井手崇運投手（父）とブルーマーリンズ八番右翼手で出場の井手翔一郎選手（息子）の初対決は、父が子を三振に取り父親に軍配が上がった。来年の対決も楽しみにしたい。

（記事、写真：奈多サンデーズ 田中孝幹）



試合開始「お願いします！」



ブルーマーリンズ先発の林投手。



ホーネッツ先発の矢野投手。



2点目のホームイン、ホーネッツ三浦選手。



やばい！？



さあ！井手親子対決。軍配は？



手で打っちゃいました！



お疲れ様でした！



今日のヒーロー？広木捕手と矢野投手。



井手親子でパチリ。軍配は父の力投に上がった。

### 青松園A 大量21得点で三友クラブ大勝！！

三友クラブ (4勝4敗) 01029 21 福山、安達○、久岡一柿崎

ソルトベイスターズ (1勝8敗) 1500 6 中村(耕)●、中村(祐)一春田

HR: 柿崎、中内、中嶋(三友ク) 矢野(ソルト) 3BH: 春田(ソルト) 2BH: 松尾(三友ク)

盗塁: 中村(健)(ソルト) 中内(三友ク)

一回表三友クラブの攻撃は、一二番とフライアウトになるが三番中内選手が四球を選ぶと、すかさず盗塁を決め二死二塁のチャンスを作る。しかし続く四番中嶋選手が二ゴロに倒れ無得点に終わる。対するソルトは一番中村(健)選手が死球で出塁すると、こちらもすかさず盗塁。送球が乱れる間に一気に三塁まで進み、三番中村(耕)選手のセンターへの犠飛で1点を先制する。先制を許した三友クラブは二回表、先頭の五番松尾選手が相手のエラーで出塁すると続く六番駄原選手がきっちり送りバントを決め同点のチャンスを作る。続く七番竹岡選手の二ゴロでランナーが進塁すると八番福井選手の当たりが相手のミスを誘い同点のランナーがホームイン。さらに九番大坪選手の絶妙なセーフティーバントが決まり、チャンスを広げると続く柿崎選手が右中間に豪快な3ランホームランを放ち、4-1と突き放した。ソルトは悪い流れを断ち切ることができず、この後も4つのエラーを重ね結局この回10失点でその差を9点とされた。二回裏、反撃したいソルトはこの回から変わった安達投手から一死後、2つの四球と八番中村(祐)選手の中前打でランナーを溜めるとPB等で2点を返す。なおも二三塁のチャンスで二番矢野選手がレフト線を貫く3ランを放ち、この一回一挙5点を返し粘りを見せる。三回表、三友クラブの攻撃はソルトの追い上げムードに水を差すかのように三番中内選手が左中間へのソロHRを放つとさらに四球、WP等で2点を追加、四回にも相手のミスで出たランナーを長打で返すなど9点を追加し、計21得点を奪った。対するソルトは安達、久岡の投手リレーの前に三回、四回共に三者凡退に抑え込まれ終わってみれば21-6と三友クラブの大勝であった。ソルトは失点に絡むミスが多く出てしまった悔いの残る試合となった。一方、チャンスを確実に得点に繋げた三友クラブの打撃陣は見事で今後の対戦相手にとっては脅威となるだろう。

(記事: 奈多フェニックス 實延新伍、写真: 安藤宏起)



朝7:00両チーム臨戦態勢。



中村(耕)選手のセンターへの犠飛でソルト先制。



三友クラブ松尾選手 ゆっくりホームイン。



強肩捕手、ソルトのルーキー春田選手。

### 雁レク3 序盤の攻防を制し雁ノ巣ライナーズが勝利！

奈多クラブ (3勝3敗3分) 001032 6 今林(瑠) ●、馬場口ー安河内

雁ノ巣ライナーズ (6勝2敗) 23120X 8 有馬○ー鳥越

3BH: 中口、鳥越(雁ノ巣) 2BH: 今林瑠生、安部健太(奈多ク) 宇野、鳥越(雁ノ巣)

奈多クラブ対雁ノ巣ライナーズの好カード。両チーム好投手を有するため投手戦が予想されたがゲームは乱打戦となる。一回表奈多クラブは三番上野選手のセンター前で勢いに乗るかと思われたが有馬投手の前に後続が抑えられ0点で終わる。対する雁ノ巣ライナーズは一番明瀬旭選手が幸先良く出塁するところからノーヒットながらも2点を先制する。二回にも三番中口選手の中越え三塁打と四番宇野選手の二塁打と連続長打でさらに3点を追加する。反撃に出たい奈多クラブは三回表、一番今林賢人選手がヒットで出塁すると三番上野選手、四番安部健太選手の連続ヒットで1点を取り返す。しかし、攻撃の手を緩めない雁ノ巣ライナーズは六番鳥越選手の2打席連続長打で三回に1点・四回に2点と点を重ねていく。四回が終わった時点で1ー8と雁ノ巣ライナーズの一方的な試合かと思われたが、ここから奈多クラブの粘り強さが現れる。五回表奈多クラブは一死満塁で四番安部健太選手に打順回り角度が上がりオーバーフェンスと思われるような豪快打球で左越え二塁打を放ちまず2点を奪い返し、続く馬場口選手の犠打でさらに1点を追加する。六回表にも死球とヒットで出塁したランナーを二番今林瑠生選手がツーベースヒットで返し2点を追加。一発が出れば同点という場面でこの日2本のヒット放っている三番上野選手に打席が回り周囲の期待は高まっていたが、ここは有馬投手に封じ込められゲームセット。四回までに毎回得点を重ねた雁ノ巣ライナーズが逃げ切り勝利を収めた。対する奈多クラブは後半の見ごたえある攻撃は古豪の強さを見せてくれたが序盤の失点と前日の深酒が悔やまれる試合となった。

(記事、写真: 新町パイレーツ 桐島 涼)



試合前整列する雁ノ巣ライナーズ。



まだ体の重そうな奈多クラブナイン。



奈多クラブ先発の今林瑠生投手。



雁ノ巣ライナーズ先発の有馬投手。



試合を見守る奈多クラブベンチ。



センター前ヒットを放つ奈多クラブ上野選手。



軽快に動きの奈多クラブ今林健選手。



バントヒットを決める国崎選手。



内野安打を放つライナーズ池内選手。



センターオーバーを放つライナーズ中口選手。



ヒットを放つ奈多クラブ今林賢人選手。



試合終了後、握手を交わす両監督。

### 青松園B ジャガーズ気持ち良く快勝！！

三苦フレンズ (2勝6敗) 0 2 1 0 0 0 3 生野●ー佐藤

塩浜ジャガーズ (3勝7敗) 6 0 2 0 4 × 12 内田○ー橋村

2BH: 橋村(塩浜ジ) 盗塁: 松尾(三苦フ) 田中、内田(塩浜ジ)

一回表三苦フレンズは先頭の生野選手が相手の失策で出塁も得点ならず。裏のジャガーズは4四死球と3安打で一気に大量6点を先制する。反撃したいフレンズは二回表先頭の五番吉村雄成選手が左前安打出塁するとさらにチャンスを作り八番吉村雄二選手が中前適時安打で2点を返す。続く三回表二番松尾選手が中前安打と盗塁などで無死三塁を作ると相手の失策でさらに1点を返した。嫌な流れになりつつあったジャガーズは三回裏の先頭の内田選手が中前安打を放つと中堅手が打球を後ろへ逸らしてしまい打者走者が一気に本塁まで帰ってきた。さらにチャンスを作り一番竹尾選手が左前へ適時安打で1点追加してフレンズを突き放す。ダメ押しをしたいジャガーズは五回裏の攻撃は3連続四球を選び無死満塁のチャンスで二番橋村選手が左線への2点適時安打を放つとさらにチャンスを作り押し出し死球や代打角選手の中前適時安打でこの回4点目を奪う。あと1点でコールドゲームとなる二死満塁の美味しい場面でジャガーズベンチは監督の水流選手の「代打俺」登場もあえなく二塁飛球でコールド成立ならず。なんとか意地を見せたいフレンズは六回表先頭の四番佐藤選手が右前安打を放つが後続が繋げず無得点で試合終了した。勝ったジャガーズは作ったチャンスを実に確実に得点に結び付けた集中力での先制、中押し、ダメ押しをした攻撃は見事だった。対するフレンズは投手の生野選手が13四死球を出してしまい守備の時間が長かったのも影響してか、ここぞの場面での集中力が欠けていたように感じる試合だったので今後の生野投手の奮起に期待したい。(記事: 新町ウインズ 野中一史、写真: 泉晴也)



フレンズ先発の生野(拓)投手。



ジャガーズ先発の内田投手。



本塁生還のジャガーズ道喜選手。



追いつきたかったが一塁ゴロに倒れる生野選手。



ダメ押しタイムリーのジャガーズ橋村選手。



「代打俺」登場でコールドを狙った水流監督・・・あえなく二塁飛球。



フルスイングのフレンズ寺山選手。



最後はお互いの健闘を称えて整列。

## 第16週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ！

第16週、8月16日は4試合が行われました。

奈多グラウンドの三苦ホーネッツ対ブルーマーリンズ戦は、現在首位対最下位の対決。当然ホーネッツの優位は変わらないと思っていたら、二回表にホーネッツが相手ミスも絡んで2点。その裏ブルーマーリンズも相手ミ

スに林投手自ら三塁打を放って1点。もう1点欲しかったが追いつけず。その後両投手の力投で2-1でホーネッツ勝利。ブルーマーリンスは大金星を逃した。次こそは1勝を！

青松園Aの三友クラブ対ソルトベイズスターズ戦は、1点リードされた二回表に三友クラブが一挙10点を挙げて試合を決めた。更に5点返されるも三友クラブの攻撃は激しさを増し、終わってみれば21-6の大勝。20点台の失点というのは経験したことがないのですが、スコアブックの写真が送られてこなかったの、詳細が見えません。客観的な意見を書き込むためにも、各チームの編集部員さんは、忘れずに各スコアブックとメンバー表を一枚の写真に収めて送って下さい。

雁レク軟式3の奈多クラブ対雁ノ巣ライナーズ戦は、序盤のリードを活かしたライナーズが奈多クラブ得意の後半追い上げをかわして5-8で勝利。打線好調なライナーズは、打率TOP6人中3人（明瀬旭・明瀬航・久保田選手）が入っている。本文にあった、奈多クラブの「前日の深酒が悔やまれる結果」に関しては、チーム全体が飲酒に関しての印象を払拭する必要を強く感じる。明け方まで飲んで試合にやってくるなど言語道断。自チームメイトは元より、真剣な対戦を期待して朝早くから準備する相手チーム、審判チームに対して失礼極まりないことだと認識してほしい。

青松園Bの三苦フレンズ対塩浜ジャガーズ戦は、一回裏ジャガーズは相手四死球に乗じた大量6点で主導権を握ると、三回に2点の中押し、五回の4点でダメ押しと理想的な得点を挙げ3-12で勝利。投手が一番打者を務めるチームはいくつか見られるが、フレンズもそのひとつ。昨年レッドの江口投手が見せたような首位打者&最多勝という例もあるので、是非頑張ってもらいたい。しかし、やはり投手が一番を務めるのはチームの層の薄さにも一因があると思われるので、底上げに期待する。

高校野球100年を記念する第97回全国高校野球選手権大会（夏の甲子園）も東海大相模が45年ぶり2回目の優勝を果たして幕を閉じた。

注目選手が多かった今年の甲子園だったが、サヨナラゲームも多かった。

8試合がサヨナラゲーム。

サヨナラではないが九回に勝ち越しという試合も多かった。

それだけの接戦を演じる緊迫した鏖迫り合いの末、一球が勝敗を分ける。

そこに思いのすべてが集約されると言っても過言ではない。

今年は東北勢の仙台育英（宮城）が決勝まで進んだ。

この試合で6-3で負けている仙台育英は六回裏、二死満塁のチャンスに一番佐藤将太選手の打席。

アルプスでやっていたタオルを回す応援を、ファールで粘るたびに球場全体が一緒になってやりはじめ、結果、走者一掃の同点三塁打を放った。

この一打など、観客が一丸となって選手を後押ししたように思えた。

まるで2007年の佐賀北一広陵（広島）の決勝戦の時みたいだった。

また、同点で迎えた九回表、それまでノーヒットだった東海大相模のエース九番小笠原慎之介選手（3年）が、その初球を勝ち越しHRし、東北勢悲願の優勝を阻んだ。

こんな魔法のような力が働く世界なんですね。



しかし、こんな魔法は片手間で野球をやってる選手ではなく、真摯に向き合っている選手に働くからこそ感動を呼ぶんだと思います。

全ての球児とは言いませんが、甲子園に出場する選手はすべから片手間でやっている選手なんて一人もいないでしょう。

WSLの試合はたかだか一時間半程度。片手間でやっている選手もいるかもしれません。

しかし、あなたが輝ける時間はその何分の一ですか？

また、その輝きに更なる感動を呼べるのはあなたの姿勢であり、それは試合会場だけでなく、それ以外でも見られています。

いわゆる「品」（しな×、ひん○）の問題です。

WSLが本当の友好と戦いの場であり続けるためにも、あなたが一球一球を大切にする一級（球）品であることを目指して欲しいと思います。